



J. A. R. L. 宮城県支部報

第 6 号

社団法人 日本アマチュア無線連盟
宮城県支部
昭和56年7月25日 発行
発行人 小元久仁夫 JA7AFP
編集人 小野寺三郎 JH7LDO

会 告

J A R L 宮城県支部

支部長 小元久仁夫

第1回「宮城県ハムの集い」を下記の通り行います。ふるって御参集下さい。

記

日時：昭和56年9月5日(土)午後6時より9月6日(日)午後3時まで(5日午後4時から宿泊施設が御利用になれます。)

会場：宮城県栗駒町駒の湯 (財)宮城県勤労者いこいの村 (愛称「いこいの村栗駒」)

プログラム

9月5日(土)

*午後7時より「アイボール・パーティー(こん

しん会)」各種ゲームあり

9月6日(日)

*午前8時より「早起き宝さがし」

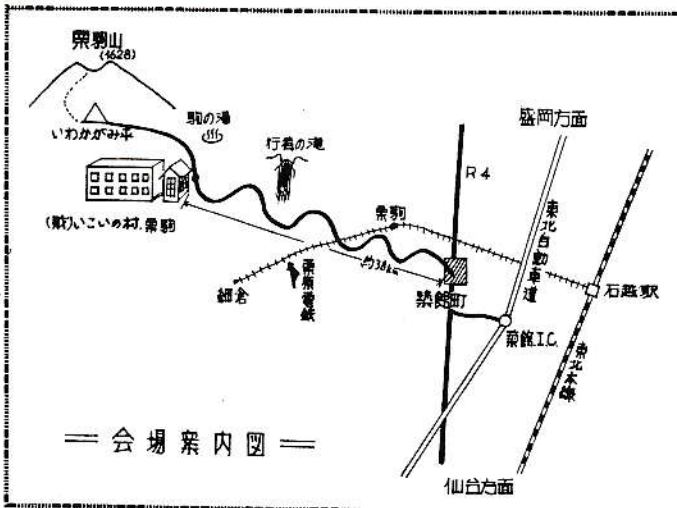
*午前10時より「支部大会」業務報告・コンテスト入賞者表彰・その他

*午後1時より「FMラジオによるFOX HUNTING(徒歩)」その他ゲームを企画。

*特設局JA7YRLの公開移動運用およびJA7IGY局の展示を予定しています。

以上

**なお予約申込等の関連記事が8頁にありますので御覧下さい。



交通のごあんない

*列車ご利用の場合

東北本線石越駅乗換え、栗原電鉄栗駒駅下車、宮城交通バス「いわかがみ平」行で、「いこいの村栗駒」下車徒歩1分。またはタクシー40分。

*自動車ご利用の場合

仙台方面より、東北自動車道築館I・Cより栗駒町岩ヶ崎、栗駒ダム経由約40km(所要時間約60分)。なお当日案内の看板を道路の要所に出しておきますしモービル誘導(8頁参照)もいたします。

UHF時代のアマチュア無線

JA7AFP 小元 久仁夫

1. UHF帯の特徴と現状

430MHz帯の電波がはたして見通し外まで届くであろうかと疑問をもったJA7AFP, JA7GUN, JH7FXXの3局は1975年9月中旬に山形・秋田県境の名峰「鳥海山」への移動実験を行った。その結果、なんと7.30kmも離れた島根県松江市移動のJA4ZEK局と8時間以上にわたるQSOを行うことに成功し、UHF帯の電波が見通し外の地点まで届くことを確認した。そしてこの交信距離が日本における430MHz帯の最長交信記録となった(その後の記録更新に関する内容を含む記事がCQ誌1978年11月号に掲載されています)。

私達(といっても当時JA7GUN武田さんとJH7FXX内田さんはまだ430MHz帯のライセンスはなく、本当に見通し外のQSOが可能だったら430MHz帯のライセンスを申請しようと考えていた)の作った記録についても一部の人は「あの記録は海上伝播であったから陸上ではやはり見通し外は不可能だ」という人も多かったのです。しかし私達は陸上でもきっと見通し外の通信は可能だと考えていました。

1976年6月のある日、当日の144MHz帯の伝播状況はVYFBで東京都内のモービル局が59で入感する程でした。そこで私は「どなたか430MHz帯のライセンスをお持ちの方、是非QSOをお願い致します」という旨のCQを出しました。早速横浜の局が応答してきて2mでQSOをし、次に430MHz帯のSSBでその局を呼んだ所、「オモトさん聞える!ほらこんなに良く入感しています!」と2mで横浜での受信状態を送ってくれました。その後こちらで受信した所、QSBを伴いながらもRS55で交信することができて、この晩だけでも30余局の関東地方在住のアマチュア局とSSBやFMで交信することができたのです。

5年前の433.00MHz(通称呼出周波数)は夜でも堂々と(?)ラグチューできる位に430MHz帯にON AIRする人は少なかった。そんなある夜、私が433.00MHzで「JA1△△△、JA1△△△こちらはJA7AFP、JA7Able Foxtrot Papa、宮城県」と呼んだ所、「AFPさん、ここは433MHzですよ、145.00MHzではありませんよ」という親切(?)なアドバイスや「AFP酔っぱらってるのか?オメエ1が聞こえる筈があるか!」とお叱

り(?)の言葉を頂戴した。いくら私が「本当にJA1△△△が入感してますよ!」と話しても信じてもらえなかったのです。今では毎晩のように1-7間ばかりでなく、2、3、8、9、ØエリアとFBな交信が行なわれるようになりました。

さて1200MHz帯はどうでしょうか?このバンドは430MHz帯どころではなく、HFなんかと比べたら気の遠くなるような程、つまりHF機のダイヤルを廻すとしたら指が痛くなる程廻してもバンドの下端から上端までカバーしきれない程広い!ハイ、コレホントにホントのオハナシ!なのです。そこで多くの皆さんがON AIRしている1295または1296MHzを2mバンドがバンク寸前の土・日の夜8時頃ワッチしてみてもせいぜい数局しか聞えない静かなバンドです。そしてこのバンドに出ている人は皆さんいずれもFBなUHF MAN(YL局は極めて少ない)できたるべき1200MHz帯の隆盛をいち早く感知して日夜技術を錬磨しながら静かに夜明けを待っているように見受けられます。このバンドでアクティブなグループはJH7IMZやJH7BJH局を中心とした仙台グループそれにJA7DSOやJA7AIY局の石巻グループ、JA7GA、JA7LT、JA7EWXを中心とした原町グループ、JA7GB局をリーダーとする郡山グループ、JA7WRQを中心とする秋田グループ、JA7TBYを中心とする盛岡グループをあげることができます。これらの人達の多くはさらにこの上の2.4GHz帯のパイオニア的な存在でもあります。

この1200MHz帯に昨年の11月19日から宮城町吉成の小生宅から1295.5MHzでJA7IJY局がF2のビーコン電波を発射しています。そして多くの人はこのアマチュアの標準電波を受信して自作機器の調整や電波伝播の試験を行っています。現在までのところ、このビーコン電波は南は郡山市北は秋田市や盛岡市から受信レポートが届けられており、JARL東北事務局では美しい受信証を発行しています。今後ともJA7IGY局のビーコン電波は1200MHz帯の灯台的な役割をはたすことと思います。

2. UHF帯の将来

すでにCQ誌の1979年5月号「特集430MHzへの招待」で述べましたように、430MHz帯はUHFバンドの入門用としては1980年代は特に魅力のあるバンドになりそうです。それには訳があります。すなわち現在の430MHz帯でのQSO—ハムの楽しみ方が倍加されるからなのです。このハムの興味を倍加してくれるであろうきっかけは、PhaseⅢ計画と、レピーターシステムの導入、そしてパーソナルコンピュータの普及に他なりません。

PhaseⅢ計画につきましてはこれまでたびたびCQ誌やJARL NEWS (J・N) でとりあげられてきました。PhaseⅡまでの、すなわちアマサットオスカー8号までのQSO可能時間は数分～20分間と極めて短時間でした。そのため、常に衛星の正しい位置関係を頭の中に入れておかないと十分なQSOができませんでした。所が来年打上げ予定のPhaseⅢB (PhaseⅢAは昨年打上げに失敗し太平洋に沈んでしまいました) が、もし成功しますと、私達は毎日10時間以上もこのサテライト (衛星) を経由した海外局とのQSOを電離層の影響をほとんど受けることなく楽しむことができます。そしてありがたいことに利用可能なバンド巾は現在の50KHzから一挙に600KHzとワイドになります。このPhaseⅢBへのアップリンク (地上局からサテライト局への送信) 周波数は430MHz帯と1200MHz帯であり、ダウンリンク (サテライト局から地上局向けの送信) 周波数は145MHz帯と430MHz帯なのです。

我国は国土の面積も狭く山国で人口は都市とその周辺地域に集中しています。50万のアマチュア無線局のうち、HF帯で存分にQSOをenjoyしているハムは、ほんの1握りの人達だけです。隣り近所にTVIやアンプリをおこす恐れのないUHFバンドは小型軽量のANTの設計製作や各種の実験に手頃なバンドであり、まして外国とのQSOも可能となればペーパーライセンスしか持たない人達も、またHF帯でのJAのマナーの悪いパイル・アップQSOに愛想づかした人達もきっとUHF帯を見なおしON AIRしてくるものと思われます。昨年11月に宮城県支部では1.2GHz帯オールモード・トランスパーター組立講習会を実施いたしましたが、実は、このようなサテライトQSOのバックアップと次に述べるレピーター時代を十分に考慮した催物であった訳です。どうぞ今年の1.2/2.4GHz組立講習会 (10月16日) に多勢の皆様方の参加をお待ちしています。

さてレピーターですが、我国でもようやく欧米の

先進国なみにごく近い将来レピーターの設置が認可される運びとなりました。そしてレピーター局の入出力周波数も過日行われたレピーター委員会や周波数委員会と430MHz帯と1200MHz帯について審議し決定いたしました。すでにJARLの技研には430MHz帯のレピーターが入っておりまた1200MHz帯のレピーターの試作も行われています。このレピーターを使用することによって我々アマチュア無線局の受ける恩恵は先に述べたサテライト局同様大変大きいものがありますが、地上局であるレピーターについては運用と管理の面でのトラブルもまた大変なものがあると思われます。

430MHz、1200MHzいずれのレピーターにしても設置以前に十分な伝播テストをしておく必要があります。その意味では現在1200MHzのビーコン局が本県にあることはレピーター設置への布石であると考えても良いでしょう。

もう1つのトピックスはパーソナルコンピュータの普及に伴うアマチュア無線の変貌です。皆さんの中には、すでにコンピュータの機能の1部を有するトランシーバーをお持ちの方もいらっしゃるしコンテストの時などには大部分の方々はずでにメモリーキーをお使いのことと思います。現在でもトランシーバーをコンピュータとリンクすることは簡単であり、免許人がせつせと会社で仕事をしている間や、グウグウ眠っている間にパソコンがDXを稼いでくれた(?)ということは十分にあり得る話なのです。コンピュータの普及に伴って単純なログの整理やQSLの発行と整理にとどまらず、レピーターシステムにおける会員、非会員の識別や装置の監視業務など、また広いUHF帯のバンド特性を存分に生かした映像多重通信システムやデータ通信など、そして何か画期的な新しい通信方式が近い将来、このコンピュータ技術の発達に伴い誕生するようになります。そこでUHF帯の勉強と共に今から少しずつコンピュータの勉強もしておく必要があります。

3. む す び

1979年のCQ誌5月号のUHF特集号が出て以来、UHF帯は以前と比べて大変にぎやかになって参りました。その時、私はJARLに新しいいくつかの提言をいたしました。JARLはこれらの提言の中、バンドプランに関するものは周波数委員会を通じてATVやレピーター局の周波数を含めて全面的にとりあげてくれました。そしてこの文章が皆さんのお目にとまる頃には新しいバンドプランも発表され、1部はすでに実施されていることと思

ます。

現在新幹線の走っている大都市では、数年前に2mで生じたと同じ問題(QRMを含めて)が70cmバンドで発生しているとのこと。寒古鳥の鳴いている仙台周辺の430バンドもやがて数年後には現在の2mと同様の運命をたどるのでしょうか？

私は「ハム」という同じ趣味をもつ多くの人達が同時に喜びを分かちあうためにも、もっと多くの人達が「できるだけ占有帯域の狭いCWやSSBをLow Power でお使いになって新しいバンドプランに従

って秩序ある運用をされること」を希望しています。そして特に430MHz帯で10MHz、1200MHz帯ではWARC-79の結果、将来バンドが削減されても、なおかつ40MHzもある広いバンド特性を存分に生かした利用方法をもっと多くの人達に認識して頂きたいと考えます。「1980年代はUHFの時代」ということばがやがて実感として迫りくる日を信じて疑いません。

PSE QRV UHF! HOPE TO QSO
VIA SATELLITE OR REPEATER! TU

「1.2GHzトランスバータ組立講習会」に参加して

JA7GUN 武田 久尚(仙台市)
(宮城メディカルクラブ所属)

近年UHF帯への関心が次第にハムの間に高まってきました。1.2GHz帯は従来市販の装置も少なく、また高価であり、そのバンドのアクティビティは残念ながら本県では極めて不活発でありました。そのため折角リグを用意してCQを出しても全く応答がなく、自分の装置が正常なのかと心配したり、またQSOをする相手がないためQRTしたりする人もおりました。

そこでJARL宮城県支部では県内各地に1.2GHz局が多く誕生しこのバンドのアクティビティが向上するように1.2GHzトランスバータ組立講習会を催すことにしました。おりによく講習会開催の一週間前には1.2GHzビーコン局JA7IGY(1295.5GHz F2)が宮城町吉成山に開局し、マーカー局、パイロット局として運用を開始しました。

さて1.2GHzトランスバータ組立講習会の参加局を募ったところ近県からも参加したいとの問い合わせがあり、11月24日(月)には県内各地から10名を越える参加者がありました。会場は、JARL東北地方本部をお借りしました。当日はマキ電機のキットを組立てましたが、マキ電機の横岡さんとXYLさんは当日朝早くJA1から来仙され、実体配線図と明確な説明で参加者を御指導下さいました。おかげでハンダゴテとニッパー、ラジオペンチ程度の工具のみで組上り、早い人は約2時間で完成させました。完成後のチェックと調整はマキ電機の装置を用いて行い、昼食をはさんで午後2時には全員トランスバータを無事完成させました。早速JA7RL局の1.2GHz用アンテナを借用し、JA7IGYのビーコン局が受信出来ました。

最後に1.2GHz用ループアンテナの作り方、免許申請の方法及びJA1方面のUHFの現況などに

ついて横岡さんの御説明があり午後4時に解散しました。

今回製作したキットは非常に小型であり、外見もきれいなFBなものです。親機には、144MHz(出力1~10W)トランスバータを用い、トランスバータ本体のアンテナコネクタ部位で測定した出力は2W程度得られました。そのためアンテナ給電のための同軸線のロスを考慮しても空中線端で法定出力1Wを得ることは十分可能です。感度も良好であり、2メータ用のアンテナに本機を接続してもビーコン局がメリット5で受信出来ました。

今回の講習会で一挙に10局以上の1.2GHz局が開局し、今後本県でもこのバンドがよりにぎやかになると期待されます。

今年も1.2GHz及び出来れば2.3GHzのオールモード機組立講習会を催したく思っておりますので貴局も最非御参加下さい。

「サテライト用Aモードプリアンプ 組立講習会」に参加して

JH7BJH 只野 勝男(亶理町)

宮城県支部主催による、オスカー通信用プリアンプ組立講習会をJAMSATの協力を得て、Aモード用プリアンプキットを使用し、去る5月3日(日)仙台市のJARL東北事務局内で行いました。

各局とも細いコイル巻きに苦勞しましたが(年のせいではありません Hi) 1時間少々で完成し、その後JA7YRLの設備を使い、全員FBに動作することを確認、且つその威力に十分に満足して正午過ぎ解散しました。JAMSATの協りに感謝いたします。

(参加者)

JA7QE JA7AFJ JA7AFP JA7TYE
JH7ORZ JR7DJY JR7XGL JE7AOA
JA7CQF JA7CUX JA7GUN JA7SIA
JA7UCT JA7VEK JAØJ TZ/7

ALL TOHOKU CONTEST (MIYAGI PREFECTURE)

1.9MHz	1 JH7XUZ	28 MHz	1 JH7UJU 3 JE7AFP	Multi	* JA7JEC
3.5MHz	1 JH7AXI 3 JH7VVR/7 * JA7LPW	50 MHz	2 JA7MAD/7 3 JA7EVP * JH7EKJ/7	Multi	CW 1 JH7UJN * JE7BIZ
7 MHz	1 JA7CVQ * JR7HKQ	144MHz	2 JR7JYT 3 JR7ELD/7 * JR7RDP/7	Club	1 JH7YAW 2 JA7YGU * JA7YDX
14 MHz	1 JR7BRS/7 2 JH7CUO	430MHz	1 JA7BHS 2 JA7AFJ * JH7BJH	SWL	1 K. KOJIMA * JA7-9118
21 MHz	1 JR7JMU 2 JR7IFU 3 JH7UJI * JR7HTF				

国際障害者年にちなみ
東北の障害者ハムとその活動

JR7NYC 横内 武範(仙台市)
(JASCメンバー)

日本のハム人口は、今や世界でトップを占める成長を続けている事は、それによる色々な問題もありますが、青少年の科学に対する知識向上の面からも喜ばしい事と言わなければなりません。そして数十万と言われるハム人口の中に、一握りの障害者ハムがQ R Vしている事を知ってもらわなければなりません。私達身体に障害を持つ者にとっては、今やハムは、居ながらにして世間の人達との交流を深められる手段であり、必要かくべからずのものとなっています。特に、在宅又は重度障害者の仲間にとっては、どんなにか生きる喜びになっているか、計り知れないものがあります。そこで、1974年秋に障害を持った数人のハム仲間が集り、クラブを作ろうと立上り、それが日本アビリティーズ・スカイフレンドクラブ(JASC)なのです。JASCは、健常者と障害者、そしてハムの仲間が一体となり行動し、ハムという共通のコミュニケーションの手段を通じて広く社会と交り、生活空間を拡大すると共に、社会における障害者問題をも受けとめ、考えて行動する事を目的としています。JASC本部は、東京におき、JR1ZHHを開局田原強会長外会員は、300余名にいたり、毎月毎月増加している嬉しい実情であります。しかし7エリアは、他エリアに比較するとまだまだ仲間は少く、現在は秋田1名、岩手1名、福島2名、山形1名、宮城は3名いずれも仙台市で、8名で活動しております。仙台市よりQ R Vしている仲間は、JR7VCX、弘津賢二さん

が、2メートルFMでアクティブにQ R V、そしてJR7USR、工藤義成局で2メートルからHF迄主に昼間Q R Vしていますが、仙台の町中で3.5メガのフルサイズ水平ダイポールを張っている局長さんは仙台でも少ないのではないのでしょうか。私は主に、7メガで毎日朝と夜Q R Vしています。東京で開局、そして札幌へ、仙台へきてからは3年になりますが、もう開局してから20年になります。各局ともアクティブにQ R Vしていますので声を聞いた方も多いと思います。しかしながら7エリア会員には健常者がいないため、アンテナの修理にしても、又ミーティングの開催にしても色々不自由することが多く、今後の仲間作りは障害者だけでなく、健常者の皆様の御協力と入会が望まれるところです。今年は、9月に東根市にて、関東東北合同ミーティングを開催します。又7月1日から当分の間会員とQSO出来た各局には、国際障害者年記念QSLのサービスを行います。それから各バンドで、毎週東京本部をキー局に、全国ロールコールを行っておりますが、この際皆様にはお願いですが、健常者の皆様には何でもない事でも、私達にとってはマイクを持つのもやっと、話す事さえやっとの仲間もいるのです。各自共大変な苦勞と努力してやっと資格をとり、開局したのですから、一週間に一度のロールコールにはビートをかけたり、割込んだりしないで温かく見守って下さい。それから支部へのお願いですが、私達JASCの行事には協力して下さいと共に、私達にも支部行事に協力出来る事があれば参加させて下さい。今年は「完全参加と平等」を合言葉に、国際身障者年、今日もJASCの仲間がSSBでCWで、Q R Vしています。皆様とのお付合を楽しみにして。

昭和55・56年度宮城県支部役員一覧

役名	コールサイン	氏名	〒	住 所	自 宅 電 話
支 部 長	JA7AFP	小元久仁夫	〒989-32	宮城町吉成2-13-15	0222-78-8976
幹 事					
企画担当	JA7UCT	高橋 信男	〒980	仙台市通町2-17-15	0222-72-8603
渉外担当	JA7BGK	新野 弘之	〒983	泉市向陽台3-23-5	02237-3-7088
“	JA7CQF	磯田 一	〒980	仙台市川内追廻住宅278号	0222-27-4744
会計担当	JH7KOU	佐賀 俊博	〒981-31	泉市南光台南1-21-4	0222-52-5255
庶務担当	JH7QLQ	高野 栄二	〒980	仙台市中山8-9-10	0222-78-0663
編集 広報担当	JH7LDO	小野寺三郎	〒980	仙台市成田町85	0222-56-6066
H F 担当	JA7GUN	武田 久尚	〒982-02	仙台市茂庭字小畑山4-153	0222-26-1185
V-UHF サテライト担当	JH7BJH	只野 勝男	〒989-23	亶理町荒浜築港通り7-34	02233-5-2063
コンテスト 担 当	JA7DSO	志摩 茂郎	〒986	石巻市門脇町5-7-5	0225-93-4377

支 部 登 録 ク ラ ブ 紹 介

◎くりこまクラブ(JA7ZVS)

JH7IHH 相馬 公夫

我がくりこまクラブは大家族のクラブです。

主に構成員は学生を除く一般社会人となっている所が大きな特徴となっており、クラブ員は栗原郡内をはじめ遠くは仙台まで各地に点在しています。

くりこまクラブは、昭和43年JA7TIによって当時クラブ員10名で設立したという事です。この時は、局数も少なく活動の方も順調だったようです。その後、次第に局数が増えるとはうらはらに一時活動の方は低迷をたどりました。発足当時ほとんどHF帯のオンエアが主流だったようで、個々に見るとかなりコールの有名な方もいたと聞いています。局数が増えると共に行事を進める役員のなみなみならぬ苦勞もあったようでした。

昭和53年には設立10周年の記念行事も盛大に行なわれ、これに合わせクラブ内のマラソンコンテストをやった事もより一層クラブの運営に大きな一歩を築いたことにほかならないと思います。又、54年にはクラブが出来てから2度目の電話級アマチュ

ア無線講習会を開きクラブ員の協力で成功することが出来ました。講習会を開いた事でクラブ員相互の協調性が出て、さらに新しく講習会に合格され、クラブの仲間入りをし、ピキナーのマナーの勉強等、以前に開局されたOMの人も初歩にかえて学んだ様な気がしました。

現在クラブの総局数は、134名となっております。会長はJA7KDJ高橋一夫氏で、非常にはりきって各行事に取りこんでいます。去年クラブに写真入りのすばらしい会員名簿が出来、さらに横のつながりが深まりました。また、例年、毎月中味の少ない割にも会報の発行、定例ミーティングの実施、フィールドコンテスト及びクラブ内マラソンコンテストの実施、さくらんぼ狩りの実施、技術講習会の実施等各局苦勞しながらも頑張っています。

特に今年はJARL宮城県支部大会が栗駒で行なわれる事になり、クラブ全員はりきって皆さんをむかえる準備をし、グラウンドでお会いする事を楽しみにしております。

昭和56・57年度宮城県監査指導委員名簿

役員	コールサイン	氏名	住 所	自 宅 電 話
委員長	JA7BE	関谷 圭一	989-03 白石市大鷹沢三沢字久保田142-6	02242-4-4119
委員	JA7FC	北角 栄一	986 石巻市南浜町3-1-28	0225-22-3562
"	JA7KC	赤間 操	989-61 古川市南町1-7-8	02292-2-5177
"	JA7LN	大畑 俊雄	987-05 迫町佐沼字錦7	02202-2-3190
"	JA7ST	大宮 一郎	988 気仙沼市切通116-1	0226-22-6378
"	JA7BZC	佐藤 渡	989-24 岩沼市字朝日447-2	02232-3-3352
"	JA7GFE	芳賀 哲男	982 仙台市長町2-12-14	
"	JA7IWK	菅原 久雄	989-53 栗駒町岩ヶ崎字上小路124-3	02284-5-2538
"	JA7JSK	佐藤 忠夫	988-01 気仙沼市松崎柳沢104-15	0226-23-8867
"	JA7UTQ	松田 秀勝	981-31 泉市上谷刈字北裏屋敷2	
"	JH7BJH	只野 勝男	989-23 亶理町荒浜築港通り7-34	02233-5-2063
"	JH7OQT	佐藤 光男	989-02 白石市半沢屋敷前150	02242-6-2095
"	JH7TVI	門馬 利明	981-05 矢本町字町浦168-1	02258-2-3590

昭和56年度JARL宮城県支部登録クラブ一覧表 (昭和56年6月15日現在)

登録番号	クラブ名称	クラブ局コール	代表者コール	登録番号	クラブ名称	クラブ局コール	代表者コール
			連絡者コール				連絡者コール
06-1-1	石巻クラブ	JA7YBI	JA7FC	06-2-2	東北学院大学	JA7YGX	JR7FMH
			"				"
06-1-2	気仙沼クラブ	JA7ZRY	JA7KND	06-2-3	仙 台 一 高	JA7YDX	JR7UHG
			"				JR7FHB
06-1-3	古川クラブ	JA7YZO	JA7KC	06-2-4	東北工業大学	JA7YFB	JH8EMH
			JA7FFV				"
06-1-4	仙台クラブ	JA7YDM	JA7EWO	06-2-5	東北学院大学 工 学 部	JA7YFH	JR7TAZ
			JA7CQF				JR7JXI
06-1-5	塩釜クラブ	JA7ZHU	JA7JS	06-2-6	仙台電波高専	JA7YCQ JH7YAP	JH7IMX
			"				"
06-1-6	くりこまクラブ	JA7ZVS	JA7KOJ	06-2-7	仙 台 二 高	JA7YIL	JR7GVV
			"				"
06-1-7	名取クラブ	JA7YTM	JA7WQF	06-3-1	仙台電気工事局	JH7YIA	JH3EOH
			JR7ANA				"
06-1-8	蔵王クラブ	JA7ZXT	JA7NNC	06-4-1	N J D X C		JA7AD
			"				"
06-1-9	登米クラブ	JA7ZYK	JA7LN	06-4-5	ぬどいもクラブ	JA7YYV	JA7JED
			JA7WAG				"
06-1-10	岩沼クラブ	JA7YOR	JA7IJ	06-4-6	I E C クラブ	JA7ZRF	JH7ORZ
			"				"
06-1-11	亶理クラブ	JA7YZR	JA7NFZ	06-4-7	ブルースカイ 仙台クラブ	JA7ZVJ	JH7WYB
			"				"
06-1-12	奥州クラブ	JH7YAM	JA7EMG	06-4-8	宮城メディカル ク ラ ブ	JH7YFB	JA7TKC
			JA7LNE				JR7CAD
06-2-1	東 北 大 学	JA7YAA JH7YAA	JR7UVL	06-4-9	宮城アマチュア 無 線 クラブ	JH7YRL	JA7AFP
			JH7IMN				JA7TCM

Q S P コーナー

****第1回「宮城県ハムの集い」についてのお知らせ****
1頁の会告に続き御案内いたします。

***予約**

- (1) 宿泊：1泊3食付5,000円(但し12才未満の子供は4,000円)。家族で個室を希望される方はその旨明記のこと。
- (2) こんしん会：別途に3,000円頂きます。
- (3) 参加費：無料(入園料、9月6日の昼食代等)但し可能ならば団体保険をかけたいと思いますので9月6日当日のみ参加の方も昼食の準備の都合上できるだけ下記申込みをして下さい。

***申込先**：〒987-22 宮城県栗原郡築館町築館郵便局私書箱8号「JARLくりこまクラブ」気付「第1回宮城県ハムの集い実行委員会」宛に必ず「往復はがき」で次の事項を明記の上申込んで下さい。

- (1)申込責任者の氏名、コールサイン、住所、電話番号、(2)宿泊予約の内容(大人、子供の人数、性別、個室希望の有無)、(3)到着予定時刻、(4)交通手段(バス、自家用車等)、(5)こんしん会出席の有無および人数、(6)当日のみ(9月6日)参加希望かどうかの別。(7)キャンプ希望の有無(但し幕営用具は各自で持参のこと)。

***メ切**：昭和56年8月15日(必着分)まで

***モービル誘導**：9月5日出は午後2時から9月6日(日)は午前8時からいずれも14.472MHzおよび14.532MHz(FM)でJA7YRLおよびJA7ZVSのメンバーが皆様の道案内をいたします。

***送迎バス**：30人以上の希望者が集まれば、9月5日午後3時県庁前発：9月6日午後3時いこの村会場発国鉄石越駅ゆきの送迎バスを運行いたします。バス利用希望の方は上記「実行委員会」宛往復はがきで同時にお申し込み下さい。

***特設局の運用**：9月5日および6日の2日間JA7YRLを会場内に移動し希望者の運用の便宜をはかります。特設局運用の希望者は従免とJARL会員証を御持参下さい。 以上

・第1回「ハムのための初級マイコン教室」のお知らせ
上記催物を56年11月22(日)に開催する予定です。詳細は追ってJARL NEWSに発表します。ふるって多数御参加下さい。

担当 JA7BGK

****国試直前CW講習会のお知らせ****

対象：電信級および2アマ受験希望者

日時：56年9月23日(秋分の日)10時より

会場：仙台市 JARL東北事務局

申込先：〒980 仙台市大町2丁目2-13-12立町ビル
JARL東北事務局宮城県支部CW講習係
(JA7GUN)宛

申込メ切：8月31日 往復はがきに住所、氏名、コールサイン、電話番号、志望資格を記入して申込のこと。

当日：できるだけ電けんと低周波発振器を御持参下さい。

****1.2GHZ、2.3GHZトランスパータ**

組立講習会のお知らせ

次の要領で「第2回1.2GHZと2.3GHZのトランスパータ組立講習会」を開催します。

日時 昭和56年10月10日(祭日)

10:00 ~ 16:00

会場 仙台市 JARL東北事務局内

内容 希望者には分割払いも可、又同時にアンテナキットもあつせん可能です。ご相談下さい。

①1.2GHZ…マキ電機製UTV-1200BⅡオールパーツキット。

費用は特別価格で4万6000円

②2.3GHZ…マキ電機製オールパーツキット。

費用は約7万5000円(未確定)。

申込方法 ハガキに「①1.2GHZ又は2.3GHZトランスパータ組立講習会申込み。

②住所 ③氏名 ④コールサイン ⑤電話番号 ⑥アンテナ希望(アンテナ希望者のみ) ⑦一括払と分括払の区別」を記入し宮城県支部あて申込下さい。

申込メ切 56年9月15日消印まで、但し到着順30名でメ切。

当日持参品 ハンダごて(60~80W) テーブルタップ等工具一式。
分割払希望者は印鑑。

問合せ先 JA7BJH 只野 勝男宛

(昼) 仙台 61-6754

(夜間) 02233-5-2063